



の約34億9000万円を計上、地方交付税の振替財源となる臨時財政対策債は、国から示された伸び率による試算を踏まえ、前年度に比較して約1700万円減の約1000万円を計上しています。

歳出予算について、投資的経費は、前年度に比較して約20億1800万円増の約43億100万円、人件費は、前年度に比較して約700万円増の約19億1300万円、公債費は約4300万円減の約9億9400万円を計上しています。

一般会計から特別会計と企業会計への繰出金等は、約11億4000万円を計上し、一般会計と5つの特別

会計および3つの企業会計を合わせた当初予算案の合計は、約187億7800万円で、前年度に比較して17・3パーセント、約27億7000万円の増であります。

また、一般会計の収支不足額は、前年度に比較して約1億800万円減の約12億6200万円で、同額を基金から取り崩し、収支の均衡を図っています。

町財政については、多様化する町民ニーズや重点課題に対応するため、これまで可能な限りの施策を講じてきた反面、今後は人口減少が加速することに加え、近年の大型事業実施に伴う多額の町債発行により、向こう数十年にわたる公債費の大幅な増加が避けられず、このままでは新規事業の実施はもとより、既存の町民サービスを維持することさえも危ぶまれる局面を迎えることが確実視されます。

このような中、『第6期厚岸町総合計画』に掲げた『めざすまちの姿』を実現させるためには、当面の取り組みとして、ふるさと納税のさらなる推進や新たな財源確保を図ることはもとより、人件費や扶助費等を含めた経常的経費の抜本的見直し、町有施設等の最適化など、長期的な視点を持って進めなければならない多くの課題があります。

未来への投資は、健全な財政運営



があつてこそ、はじめて可能となります。そのためには、今後さらなる大型事業を控えるに当たり、これまでにない大胆な行政改革に取り組みが必要があることに留意しつつ、将来にわたって持続可能で安定的な財政運営を推進してまいります。

むすび

以上、令和6年度の町政を執行するに当たっての基本姿勢と主要な施策の概要について申し述べました。

今、国政に対し、国民の厳しい目が注がれています。私は、令和3年度の町政執行方針において、中国の

思想家『孔子』の残した語録から『民信無くんば立たず』を引用し、政治を行う人が国民の信頼を失った政治は成り立たないということを申し上げます。

このことを改めて町職員ともども肝に銘じ、町民に信頼される町政を推進してまいります。

そして、私は町長として、その使命を果たすため、『初心を忘れず』これまでの政治生活で培ってきた知識と経験、職員の持つ構想力と実行力、さらには町民の皆さんの英知を結集し、どんな困難があってもそれを克服する勇気と、たゆむことなく挑戦する姿勢を持ち続け、当面する課題に果敢に取り組んでまいりたいと、決意を新たにしております。

町議会議員の皆さん、町民の皆さん。共に力を合わせて、厚岸の未来を切り拓いていくではありませんか。

皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます、私の所信といたします。

